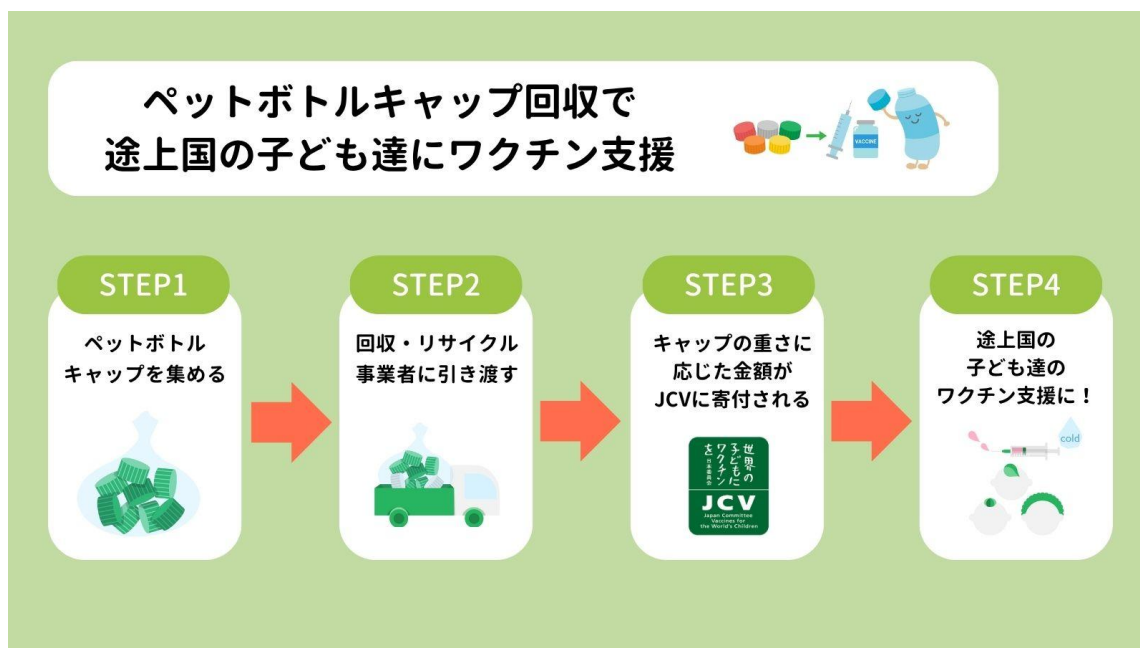


【キャップ回収による支援はワクチン年間 150 万人分！】
SDGs への関心の高まりに合わせて年々拡大する
ペットボトルキャップ回収活動による子どもワクチン支援
～6 月 30 日まで SNS で参加できる啓発活動も開催中～

報道関係者各位

UNICEF と協力して途上国の子どもたちにポリオ、はしか、結核などのワクチンを届け、命と未来を守る子どもワクチン支援を行う「認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」（以下 JCV）において、支援の大きな柱の 1 つとなっているのが「ペットボトルキャップ回収リサイクル活動を通した子どもワクチン支援」です。

昨年、JCV と提携する全国の回収・リサイクル事業者に集まったキャップによる支援は、1 人分 20 円のポリオワクチンに換算して約 150 万人分にもなります。日常の中で、老若男女誰もが気軽に参加できる SDGs として、活動の輪が年々大きく広がっています。



【ペットボトルキャップ回収リサイクル活動による子どもワクチン支援】

2005 年に始まった活動は、普段捨てしまっていたペットボトルキャップを集めて、JCV が提携する回収・リサイクル事業者やスーパーマーケットなどに引き渡していただだけで、途上国の子ども達へのワクチン支援と環境保護、ダブルの社会貢献につながる分かり易さ、そして、誰もが参加できる気軽さが、SDGs 活動に関心を寄せる多くの方々の共感を呼び、日本全国、個人、企業・団体問わず、活動の輪は年々広がり続けています。

また、JCV と提携し、キャップを受け付ける回収・リサイクル事業者も全国で 100 拠点を超え、昨年 1 年間に、子どもワクチン支援のために集まったペットボトルキャップによるご支援は、年間でポリオワクチン約 150 万人分につながっています。

(ペットボトルキャップがワクチンに換わるまでを動画で紹介中 [YouTube - JCV](#))



【ペットボトルキャップのリサイクルも進展】

ペットボトルキャップはほぼ単一素材のため、実はしっかりと分別・回収を行うことで、質の良いプラスチックリサイクル素材を生成できるポテンシャルを秘めています。最近ではSDGs や ESG への関心も大きな要因となり、買い物カゴや洗剤のボトルなど、身近な製品へのリサイクルが進んでいます。さらに昨年には、ペットボトルキャップをリサイクルしたプラスチック原料から製造され、販売数に応じてワクチン支援にもつながるキャップ回収BOX「SEVEN GOALS」の販売が、多くの方の活動参加への後押しにもなっています。

([「SEVEN GOALS」の詳細はこちら](#))



【SNS で参加できるキャンペーンによる啓発活動】

JCV では 6 月の環境月間に合わせ、「ペットボトルキャップ回収リサイクル活動による子どもワクチン支援」を促進するため、「#キャップアクション」キャンペーンを一昨年から開催しています。ペットボトルキャップが写った投稿に「#キャップアクション」と付けて、Instagram・X・Threads のいずれかの SNS に投稿すると、1 投稿につき 1 人分の子どもワクチン支援につながるキャンペーンには、今年も既に 1 万件を超える投稿が集まり、盛り上がりを見せています。終了日は 6 月 30 日（月）。皆さま、ぜひご参加ください。



【ワクチンで救えるちいさな命は 1 日 4,000 人】

はしか、破傷風、百日咳などの感染症は、途上国においては日常の脅威として、日々、多くの子どもたちの命と笑顔を奪い続けています。その数は 1 日 4,000 人。20 秒に 1 人の子どもたちがワクチンの接種をすれば防げるはずの病気で亡くなっています。

私たち、「認定 NPO 法人 世界の子どものワクチン 日本委員会」（JCV）は、途上国の子どもたちにワクチンを届け、彼らの命と未来を守る活動「子どもワクチン支援」を行う民間の国際支援団体です。感染症のワクチンの多くは 1 人分 20 円、高いものでも約 280 円ととても安価です。私たちは UNICEF や各国の保健省と協力し、1994 年の創設以来、1 億 3,377 万 3,465 人の子どもたちにワクチンを届けてまいりました。

皆さまのご支援により、2024 年は、ミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツの 4 カ国に 1 億 2,348 万 9,371 円分のワクチンやコールドチェーン機器を贈ることができました。



【JCV 団体概要】

- 団体名： 認定 NPO 法人 世界の子どものワクチンを 日本委員会
- 代表： 理事長 剣持 睦子 （ケンモチ ムツコ）
- 創設者： 会長 細川 佳代子 （ホソカワ カヨコ、細川護熙元首相夫人）
- 本社所在地： 東京都港区三田 4-1-9 三田ヒルサイドビル 8F
- URL： www.jcv-jp.org
- 設立： 1994 年 1 月 29 日
- スペシャルサポーター：
竹下景子（ワクチン大使・女優）、和田毅（元プロ野球選手）、早見優（歌手・女優）、
三國清三（シェフ・株式会社ソシエテミクニ 代表取締役）、進藤奈邦子（WHO 健康危機
管理プログラムシニアアドバイザー）、鏡リュウジ（翻訳家・心理占星術研究家）、安藤
優子（ジャーナリスト）、キャップ革命 ボトルマン（株式会社タカラトミー）

<お問い合わせ先>

認定 NPO 法人 世界の子どものワクチンを 日本委員会

広報・啓発・教育グループ 乙津

TEL：080-3094-8232 FAX：03-5419-1082

E-mail： otsu@jcv-jp.org